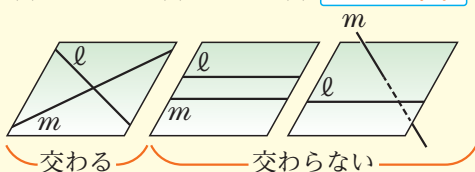


7 章 学習のまとめ

この章で学習した内容をふり返ってみましょう。

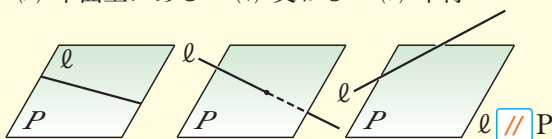
2 直線の位置関係 ▶ p.221

同じ平面上にある
(ア) 交わる (イ) 平行 (ウ) 同じ平面
上にない
ねじれの位置



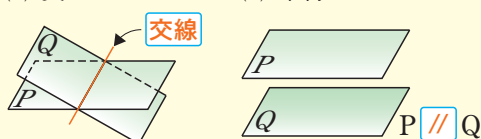
直線と平面の位置関係 ▶ p.222

(ア) 平面上にある (イ) 交わる (ウ) 平行

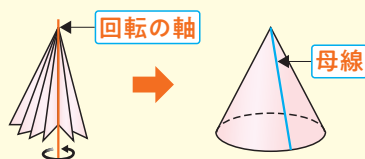


2 平面の位置関係 ▶ p.224

(ア) 交わる (イ) 平行



回転体 ▶ p.228



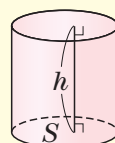
投影図 ▶ p.232

1 つの立体を正面から見た図を **立面図**，
真上から見た図を **平面図** といい，これらを
合わせて **投影図** という。

立体の体積 ▶ p.236

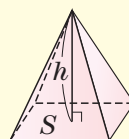
角柱や円柱の体積を V ，
底面積を S ，高さを h と
すると，

$$V = Sh$$



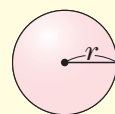
角錐や円錐の体積を V ，
底面積を S ，高さを h と
すると，

$$V = \frac{1}{3}Sh$$



半径が r の球の体積を V
とすると，

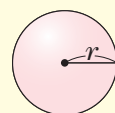
$$V = \frac{4}{3}\pi r^3$$



立体の表面積 ▶ p.240

半径が r の球の表面積を S
とすると，

$$S = 4\pi r^2$$



7 章で見つけた **!** を
ふり返って，学習感想を
まとめてみましょう。

- わかったことや
よかったこと
- 大切だと感じたことや
気づいたこと
- さらに学習して
みたいこと など

いろいろな立体を，その共通
するところに着目して分類する
ことができた。

空間では，平行でないのに
交わらない場合があることに
おどろ 驚いた。

展開図や投影図を使うと，
立体をとらえやすくなること
がわかった。

角柱や円柱の体積をもとにして，
角錐や円錐，球の体積の公式
をつくることができた。

